

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、別掲の項目におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次頁以降の内容をご参照願います。

### 保健科学グループ



株式  
会社

保健科学研究所

本社	横浜市保土ヶ谷区神戸町 106	TEL 045-333-1661
仙台支社	仙台市宮城野区扇町 1-3-5	TEL 022-236-9345
中部支社	名古屋市西区則武新町 2-20-17	TEL 052-582-3201
大阪支社	豊中市原田中 1-2-3	TEL 06-6843-5622
福岡支社	福岡市博多区山王 2-14-34	TEL 092-452-0851

い	か	が	く	小	田	原	衛	検		
新潟臨床検査センター	カスタムメディカル研究所	保健科学東日本	ケーアイエー細胞病理研究所	日本ノーバメディカル研究所	日本厚生団衛生科学研究所	組織科学研究所	相模医研	遠州予防医学研究所	湘南医化学検査センター	東部メディカルセンター

平成24年5月31日(木)の最終受託をもって中止

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目	検査案内書掲載ページ
2069	抗Dヒト免疫グロブリン試験	試薬販売中止 ※	2018 :Rh(D)式血液型	47

※ 適合試験用試薬の添付が削除されたため。

平成24年6月1日(金)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
1945	尿中硫酸抱合型胆汁酸(USBA)	検査場所(略号)	ファルコバイオシステムズ(*Q)	保健科学研究所	依頼僅少のため	3
		所要日数	5～7日	2～6日		
		報告対象	・USBA補正值 ・USBA実測値	・USBA補正值 ・USBA実測値 ・尿中クレアチニン		
5786	Intact P I NP (インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	所要日数	2～5日	2～7日	定期見直しによる変更です。	11
		報告上限値	15000.0 以上 ( $\mu\text{g/L}$ )	250.0 以上 ( $\mu\text{g/L}$ )		
5470	遊離コルチゾール	備考	酸性蓄尿は避けて下さい。	-	採取時の注意事項を掲載します。	32
4357	【腫瘍マーカー】PIVKA II	検査方法	CLEIA法	ECLIA法	定期見直しによる変更です。	44
		報告上限値	3000000 以上 (mAU/mL)	99999999 (mAU/mL)		
		報告下限値	10未満 (mAU/mL)	5未満 (mAU/mL)		
4788	アスペルギルス抗原	所要日数	2～5日	4～7日	同一試薬での内部検査へ変更します。	57
		検査場所(略号)	保健科学研究所第2ラボラトリー(*ア)	エスアールエル(*4)		
4437	オリゴクローナルバンド	報告形態	委託先報告書 原本添付	委託先報告書 複写添付	表現力に優れる原本を添付します。	103
8351 ～ 8353	【薬剤感受性検査】 1～3菌種	報告内容	下記「薬剤耐性菌の報告運用」をご参照下さい。		報告対象の追加等を実施します。	109
8612	【保菌検査】 MRSA検査	項目名称	MRSA	MRSA検査	名称を見直します。	112
4074	脳波判読	受託形態	〈非定型〉	〈定型〉	依頼僅少のため	119

▼ 薬剤耐性菌の報告について

薬剤感受性検査の結果から薬剤耐性菌と判定された場合、従来より報告していた下記①～⑥の薬剤耐性菌に加え⑦ESBL、⑧MBLも報告対象とさせていただきます。  
なお、ご依頼薬剤の内容に関わらず、各種耐性菌の判定を実施します。

【報告対象とする耐性菌】

- ① MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
- ② MRCNS(メチシリン耐性コアグラウゼ陰性ブドウ球菌)
- ③ VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)
- ④ MDRP(薬剤耐性緑膿菌)
- ⑤ MDRA(薬剤耐性アシネトバクター)
- ⑥ PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)
- ⑦ ESBL(基質特異性拡張型 $\beta$ ラクタマーゼ)産生菌
- ⑧ MBL(メタロ $\beta$ ラクタマーゼ)産生菌

【薬剤耐性菌の報告様式および対象菌種】

報告様式

- ・薬剤耐性菌の検出時には、報告菌名に(ESBL産生菌)(MBL産生菌)などと付加表記します。
- ・薬剤感受性検査項目の報告書コメント欄にも検出した薬剤耐性菌名を表記します。

ESBLおよびMBLの対象菌種について

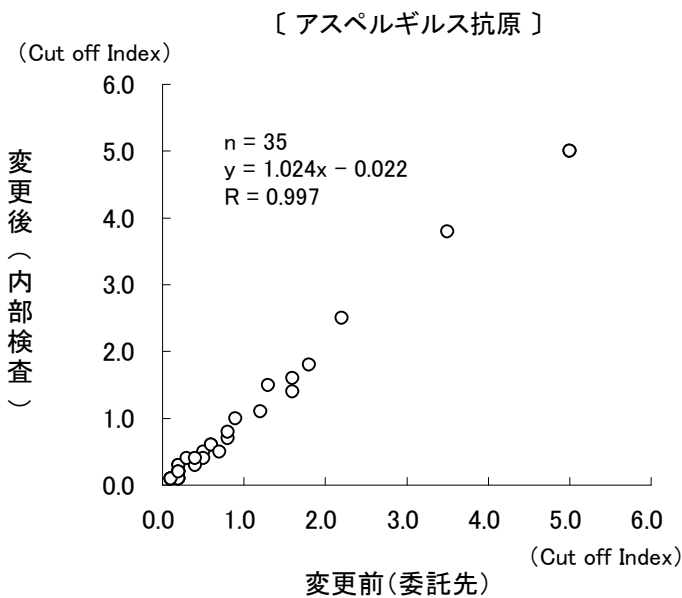
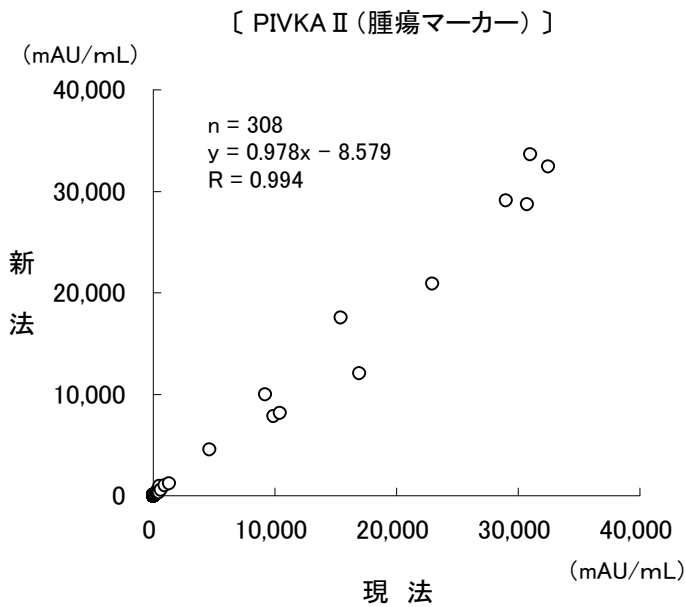
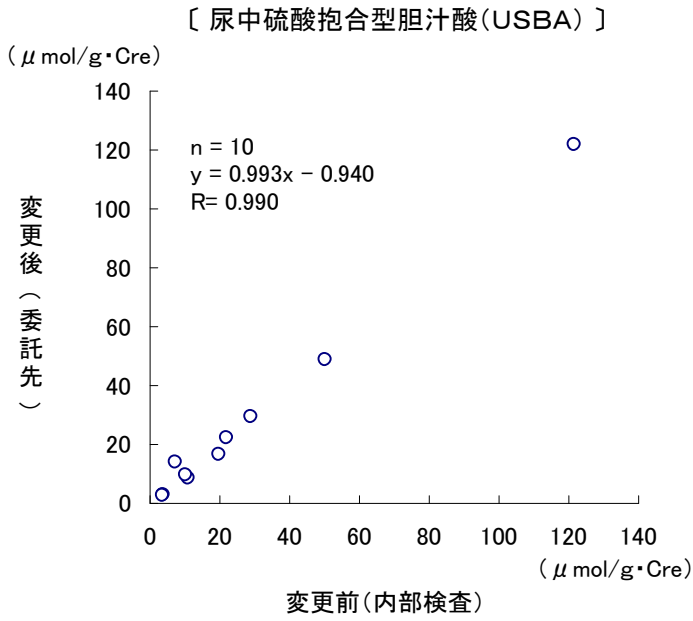
・ESBL 対象菌: *Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae*、*Klebsiella oxytoca*、*Proteus mirabilis*

・MBL 対象菌: 腸内細菌科

*Pseudomonas aeruginosa* などのブドウ糖非発酵菌

※ *S.maltophilia* など、生来MBL産生遺伝子を保有する菌種は除きます。

▼ 検査場所の変更前後および現法と新法の比較



n=35		内部検査	
		+	-
委託先	+	16	1
	-	0	18

判定一致率: 97.1%

平成24年6月1日(金)以降、順次変更

変更容器	変更内容	新	現	備考
【容器コード:D】 凝固検査用試験管	添加剤	クエン酸ナトリウム濃度 <u>3.2%</u>	クエン酸ナトリウム濃度 <u>3.13%</u>	(対象検査) 出血・凝固検査、ビタミンK分画、 ループスアンチコアグラントなど

▼ 凝固検査用試験管の変更について

凝固用試験管において、添加されるクエン酸ナトリウムの濃度は、世界標準では米国CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute、臨床検査標準協会)も推奨している「3.2%」となっております。  
また、当社における検討において、クエン酸ナトリウム濃度3.13%と3.2%では良好な相関を示したことから、添加剤濃度の変更を実施します。  
変更事項は、クエン酸ナトリウムの濃度のみであり使用方法等の変更はありません。

**D 凝固検査用試験管**



**添加剤**  
3.2%クエン酸ナトリウム 0.2mL

**採血量**  
1.8mL

**貯蔵方法**  
室温

**有効期限**  
1年

**備考**  
血漿を分離して凍結する場合はG試験管を使用して下さい。

▼ 検査方法参考文献

【腫瘍マーカー】PIVKA II 草野 正芳, 他: 医療と検査機器・試薬 35(1):87~92, 2012.